



PRESS RELEASE

2005年11月15日
(株)エフエムくらしき 
(株)倉敷ケーブルテレビ 

新しい緊急告知システム“緊急告知FMラジオ”を コミュニティFM局とケーブルテレビ局が共同開発

概要

災害などの緊急時に、たとえ電源がOFFになっていても、強制的に電源がONになり、緊急告知放送が大音量で鳴り出し、ライトも点灯するという、新しい緊急告知システムを組み込んだ「緊急告知FMラジオ」を、コミュニティFM局とケーブルテレビ局が共同開発した。(特許・実用新案・商標登録・意匠登録を出願中)

開発者は、株式会社エフエムくらしき(代表取締役 大久保憲作:倉敷市)と、株式会社倉敷ケーブルテレビ(代表取締役 務臺和正:倉敷市)。コミュニティFM局とケーブルテレビ局による緊急告知システムの開発は全国で初めて。

背景、テスト放送、今後の予定など

2004年の倉敷市での大規模な台風災害など、予想外の災害が発生する今日、防災対策が急務となっているが、従来からの広報車等を用いた告知方法には、緊急放送が風雨に打ち消され、住民まで迅速・確実に伝達されにくいといった課題が存在している。

こうした課題に対応するため、コミュニティFM局とケーブルテレビという、いわゆる「地域のコミュニティメディア」が主体となって「緊急告知FMラジオ」を共同開発した。

既に、10月11日、倉敷市の本庁・支所をフィールドとしたテスト放送を実施し、成功。倉敷市においても来年度の導入に向けた検討が進められているほか、各地の行政関係者やコミュニティFM局などから問い合わせを多数頂いており、現在、来年3月頃の発売に向け、動作状況・機能チェックを行っているところである。

価格

販売価格は約8,000円を予定。販売価格低廉化のため中国で製造を行う。

製造はURO電子工業株式会社(代表取締役 筒井英孝:東京都)が、流通は兼藤産業株式会社(代表取締役 後藤欣哉:横浜市)が担当する。

システム概要，特長

このシステムは、コミュニティFM局の電波を使用して伝達するため、大規模なセンター装置（緊急信号発生装置）や、利用者側の工事なども不要であり、従来にない次のような特長を有している。

従来にない10の特長

緊急告知FMラジオが、電源がOFFになっていても、コミュニティFM局から発信する電波を受信して、自動的に電源がONとなり、大音量で放送が鳴り始める。

自動的に放送が鳴り始めるだけでなく、同時にライトも点灯するため、聴覚障害者の方への告知にも有効。また、停電時や暗闇でも、ライトとして使用できる。

音が風雨に影響されず、家の中でも緊急告知放送を聴くことができる。

FM局の電波を利用しており、災害時の情報伝達媒体として極めて有効である。また、FM電波の未到達エリアではCATVの利用も可能である。（コミュニティFM局が無い地域ではCATVのみでの利用も可能）

250gと軽く、避難時に持ち運び可能であり、避難しながらも情報を聴くことができる。

お年寄りや子供に優しい丸みをおびたユニバーサルデザインで、素材はポリカーボン（ラジオは通常ABS樹脂）を使用しており、防滴性や強度に優れている。

基本回路が簡単なアナログ方式なので、故障がほとんどない、安心なシステムである。また、充電式バッテリーを内蔵しており、停電時でも動作が可能である。

高価なセンター装置などは不要で、ラジオの価格も約8000円。一家で一台設置も可能な価格帯である。

既にコミュニティFM局が免許を得ているので、新たな、難しい免許が不要である。

普段は、当該地域のコミュニティFM専用ラジオとして様々な地域情報の入手が可能。

お問い合わせ先

株式会社エフエムくらしき（規格／システム提案）

岡山県倉敷市白楽町520-28

電話：086-430-0600 FAX：086-430-0667

担当：大久保 ken4bax@oka.urban.ne.jp

携帯 090-3170-0639

株式会社倉敷ケーブルテレビ（設計／技術）

岡山県倉敷市西富井654-6

電話：086-427-7878 FAX：086-427-7128

担当：下島 shimo@kct.co.jp

この緊急告知FMラジオの「愛称」は、後日公募する予定です。

報道発表は倉敷市記者クラブ並びに岡山経済記者クラブで行います。